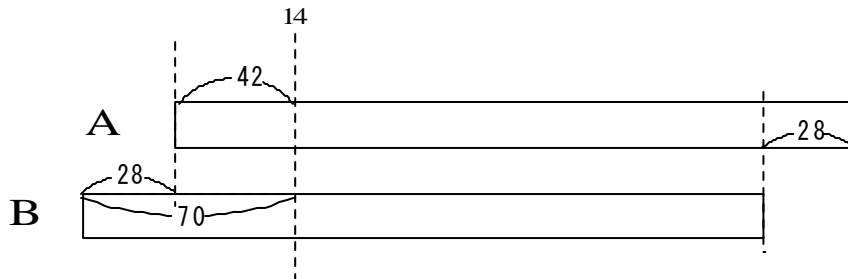


## 算数オンライン塾 6月10日の問題 解説

(解説) (1)



全体の長さを300とするとAは1つの目盛が3 Bは1つの目盛が5になります。14で合わせると、100目盛の方が  
 $5 \times 14 - 3 \times 14 = 28$ だけ左側にずれていることになります。  
 $28 \div 5 = 5 \cdots 3$ ですから 6が一番近くなります。

(答え) 6

(2)

Bの60は14から  $60 - 14 = 46$  進みますから  $5 \times 46 = 230$  のきよりにあります。  
 $230 \div 3 = 76 \cdots 2$  となり、77が近くしたがって  $14 + 77 = 91$

(答え) 91

(3)

3と5の最小公倍数は15ですから14を起点にしてみると  
Aでは14から右側に目盛91までに目盛5ずつすすむところになるので、  
14、19、24、 $\cdots$ 、89 ですから  $(89 - 14) \div 5 + 1 = 16$  か所  
14から左側へ長さ42までの間に長さ15ずつすすむので  
15、30の2か所。  
したがって合計は  $16 + 2 = 18$  か所になります。

(答え) 18か所